

令和3（2021）年度 放課後活動指導者研修 実施報告④

実施日：令和3（2021）年9月29日（水）

※新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、ZOOMとYouTubeを活用して研修を実施しました。

○ 講話「子どもを理解しよう～子どもの発達に応じた大人のかかわり方～」

國學院大學栃木短期大學人間教育学部 准教授 佐藤 秋子 氏

今回は、子どもたちが抱える様々な課題について理解を深めるとともに、子どもとかかわる大人としてそれらにどう対応し、どのような支援を心掛けるべきか、講話をとおして学びました。

研修前半は、日本の子どもたちの現状と、その健全な発育に必要な要素について学びました。そして、円滑な対人関係を築く基礎となる「愛着」を深めるために、放課後活動指導者としてできることを確認しました。また、近年深刻化が目立つ児童虐待についても詳しい説明があり、その存在に気付くための手がかりや、通告の条件等について学びました。

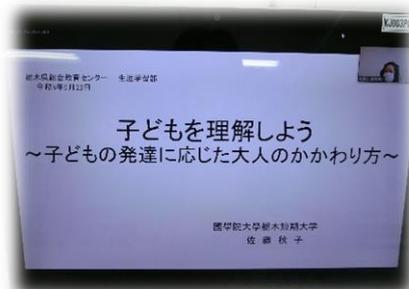


研修後半は、自閉症スペクトラムやADHD、LDなど、主な発達障害と、その特徴について学びました。そして、集団生活への適応に難しさを抱えた子どもたちを支援する際に共通するポイントが具体的に示され、これらの子どもたちが抱える難しさを軽減するための方法について認識を深めました。また、保護者への支援も同時に充実させることの必要性や、子どもの教育や支援にかかわる人・機関が連携することの重要性についても説明があり、より広い視点から子どもの支援を考える機会になりました。



★★★ 受講者の声 ★★★

- ・子どもの健やかな成長のためにはアタッチメントが重要であること、成功体験による発達など幼児期、児童期に大切な子どもたちへの対応や反応の仕方を改めて学ぶことができ、普段の活動の一部がとても大切であることを改めて認識することができた。
- ・対処法が具体的でこれからの支援に生かせるという自信につながった。
- ・基礎的基本的な詳しい内容のお話で、子ども理解をする上で、色々な情報を整理することができた。
- ・かかわり方の大切さ、子どもたちが自己肯定感を持つことの大事さを再確認できた。
- ・先生の資料が具体的で分かりやすかった。（情報量的に）2回に分けての研修でも良かった。
- ・発達障害診断は医師が行う、というのは当たり前と言えども当たり前だが、発達障害の可能性を感じたとき、「発達障害っぽい」から「発達障害だ」といつの間にか誤って認識してしまい、さらに断定してしまう危険があることに気づくことができた。
- ・最近ではコロナ感染者数が落ち着いてはいるが、やはり少し怖いのでオンラインでの参加ができてとてもよい。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp